

纒懸外禮法の支



一 母衣懸格丸ヨリ掛初右ニテ納ナリ
 外ニ吹ハ右ヨリ外ニテ丸ヲ後ニ外ニ
 主君の前ニテハ何方ニテモ主ア居
 玉フ方ヲ後ニ外ニ纒ヲ掛ル吹ハ
 緒留格出陳戰場ニテハ左ノ脇ニテ
 留ヘシ

一 神社ハ急詣シ神おする時ハ右ノ身
 忠録の緒ヲ外ニ右ノ脇ニ肘ニテ挟テ
 拜ル之々々々帰ル時ハ右ノ外ニタル
 忠録ノ緒ヲ左ノ身ニテ取テ奉リコトク
 ムスフ之出陣ノ刻又ノ前ニ出テ睨ケラ
 スル時ハ左右の中録ノ緒ヲ左ノ身ニテ
 ホトキ右ノ方ノ中録ノ緒ハ肩ノ上ニ
 掛テ中録ノ緒ハ其後外ニ置テ對
 面スヘシ退出ノ時ハ先左ノ中録ノ
 緒ヲ取テ次ニ右ノ中録ノ緒ヲトリ
 緒フ之盃酒ノ義アラハ先左ノ中録ノ
 緒ヲ外ニ置タルヲ右ノ肩ヲ越前へ
 右脇ノト帶ニ挟ミテ酒ヲ吞ヘシ

結フ之盃酒ノ義アラハ先左ノ中録ノ
緒ヲ外ニ置タルヲ右ノ肩ヲ越前へ
右脇ノト帯ニ挾ミテ酒ヲ吞ヘシ

一大將ノ前ニ出ル暇ハ両方ノ中録ヲ解
其儘ハナシ置テ出ル之退出ノ時ハ
右ノ緒ヨリ取テ次ニ左ヲ取リ結フニ
酒ヲ給ハル時ハ左方ノ忠録ノ緒ヲ
肩ノ上ヨリ右へ取リ綿齒ニ挾テ酒ヲ
吞之退出時ハ右ノ緒ヨリ取テ次ニ左ヲ
取緒何モカクノコトシ

一帰陣ノ切祝ノ時ハ左右ノ怨敵勝敵ノ
緒ヲ解ハナシ酒ヲ吞テ其後皆外ニ
納ルナリ

纒武者ヲ討タル時作法更

一纒武者討取タル時ハ名字ノ町ノ
スツノヲ四半ニ切テ文字ニ折ハ
四重ニナル三重ヲ首ノ切目ニシカセ
一重ヲ上ヨリ左ノ方顔へ打掛大將ノ
實揜ニ入ナリ頭取タル場ニテノ作法ハ
首ハ右ノコトク包死骸ハ或ハ楮ノ

實檢ニ入ナリ頭取タル場ニテノ作法ハ
首ハ右ノコトク包死骸ハ或ハ楯ノ
板ノ上ニ載テ一町切タル残リノ纒ヲ
疊々下ニシカセ其内一重ヲ上ニ折掛テ
置ナリ

纒ヲ臺ニ舉ル事

一是ハ其日討死ニ寃タル時ノ作法也
甲ノ天邊ハシ穴アリ此穴ヲ母衣付ニ
星白氏イフ天上ノ緒ノ総角ノ先ニ
別ニ糸ヲ結付母衣付の穴へ通シ
甲ノ内ノウケ張ヲ切明手ヲ以総角
先ノ糸ヲ甲ノ内へ引込内ニテ留答世
緒ト領地ノ緒ヲ解鑿ノ猿尾ニアル
纒付穴へ結付ルナリ此時ハ甲ノ忍ノ
緒真結ヒニシテ餘ヲ不殘切テ捨ル
限リタル吉又ヲシメス也勿論母衣ノ
緒鑿ニ結付ルガ故ニ馬上ヨリヲリ
タツナリナリ是ヨリ後ハ敵ノ方へ
假初ニ後ヲナサスナシサリタキ
時モ馬ヲ返ス吉又ナリ其終ニサリ口ヲ
乗ヘキ

夕ツクナリ是ヨリ後ハ敵ノ方へ
假初ニ後ヲナサス少シサリ夕キ
時モ馬ヲ返ス莫ナリ其終ニサリ口ヲ
乗ヘキ

纒七手ノ掛様事

一天井ノ緒ニ筋ノ時ハ二筋纒付ノ
纒ニ下ヨリ上へ通レ又下へハケ取違
上ニテ兩端ニ結フ又赤紐一筋掛ル
時ハ庁締ニ結ハナハ右ニシテ緒ノ
先左へナスナリ

一和合ノ緒ハ左右ニ肩ノ鞆内ヨリ
外ノ方へ一ツ戻リ胸ニテ兩ハナニ
結サケル

一禮ノ緒ハ左右ニ後ニテ袖ノ水吞
緒へツクルニ筋ノ時ハ兩端ニ結

一筋ナレハ片端ニ^結緒ノ先下へ
向

一忠録ノ緒ハ左ハ麾付右ハ手拭付ニ
ツクル付様ハ片ハナニ結付ル

一色納ノ緒ハ臍ノ通リニテ平緒ニテ
後へ廻シ母衣ノ上ニテ兩端ニ結

一 忠録ノ緒丸ハ麾付右ハ子拭付ニ
ツクル付様ハ序ハ十ニ結付ル

一 色納ノ緒ハ臍ノ通リニテ平緒ニシテ
後ハ廻シ母衣ノ上ニテ兩端ニ結ク

一 波不立ノ緒常ハユルキノ系ノ上ニテ
結ニ但兩端ニ

一 討死ノ時ハ波不立ノ緒ヲ鎧ノ
母衣付ノ穴ニ留テ先ヲ切ル

右七手掛
常ハ六手掛ニ

右此一巻者雖為極秘依
不淺御執心記進之畢撰
不可有他見者也穴賢

水山島卜也
之成

伊藤甚在
幸氏

同 隼太
幸亮

同 将曹
幸督

同 隼太
幸辰

伊藤甚在
幸氏

同 隼太
幸亮

同 将曹
幸督

同 隼太
幸辰

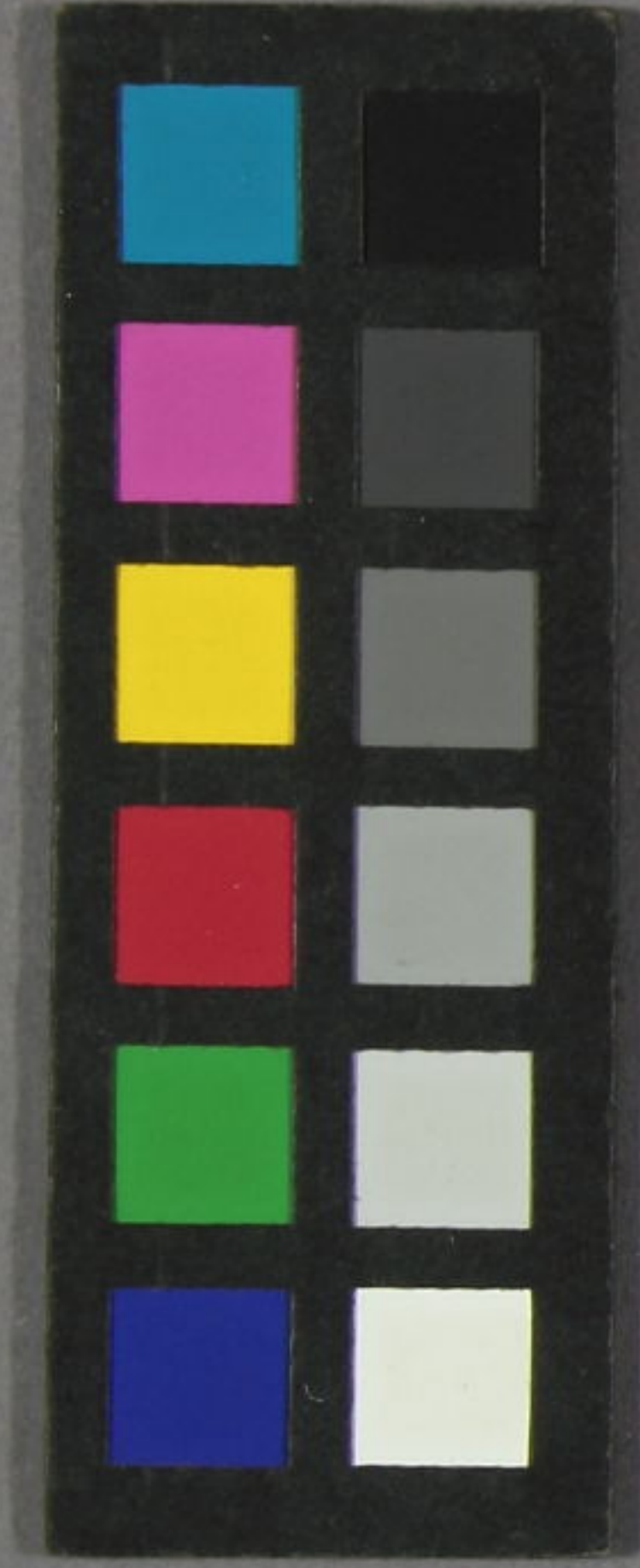
松岡清助
辰方

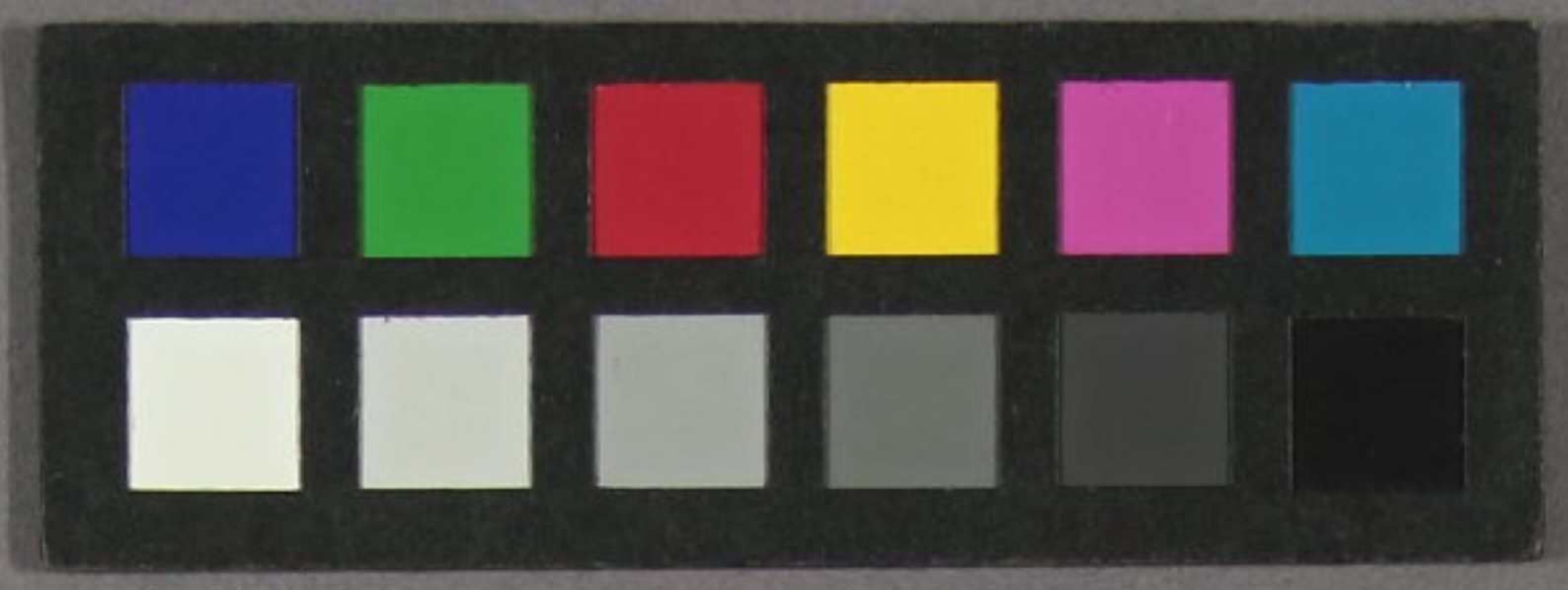
本間 幸一



本間 幸一

文化九
孟春中浣





173
3645
170

規懸外禮法の支



一母衣懸様丸ヨリ掛初右ニテ納ナリ
外ニ吹ハ右ヨリ外ニテ丸ヲ後ニ外ニ
主君の前ニテハ何方ニテモ主ア居



州城... 宜... 然... 由... 一...

蘇... 蘇...



170

73
3645
170